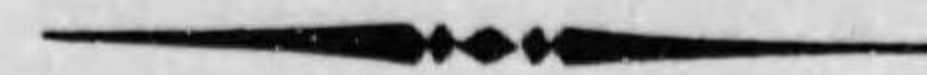


始



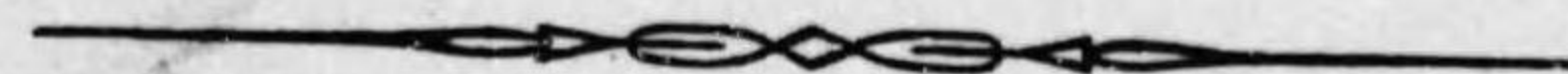
数字とよリ見たる
千葉市の変遷

千葉開府八百年記念



數字上より見たる

千葉市の變遷



千葉市役所



史ヲ案スルニ我ガ千葉市ハ今ノ緒ノ鼻臺上ニ城
 葉氏ノ祖常重氏如大治元年今ノ緒ノ鼻臺上ニ城
 ヲ築キ居ヲ構ヘ覇ヲ關東地方ニ振ヒシニ初マリ
 爾來二十六世四百六十餘年ノ永キ間房總文化ノ
 中心地トシテ名ヲ天下ニ稱セラレ以テ今日アル
 ヲ致セリ茲ニ開府八百年記念祭ヲ執行セラ、ル
 ニ際シ本市ノ既往ヲ追懷シ併セテ現在ノ概況ヲ
 紹介セムタメ本書ノ編纂ヲ企テタリト雖モ舊記
 ノ資料ニ乏シキノミナラズ紙數亦制限アリテ編
 纂意ノ如クナラズ内容體裁不備ニシテ固ヨリ杜
 撰ノ嫌ヒアルヲ免レスト雖モ幸ニ本書ニ依リ其
 ノ一斑ヲ會得セラル、ヲ得バ吾人ノ欣幸トスル
 所ナリ。

大正十五年六月一日

千葉市役所

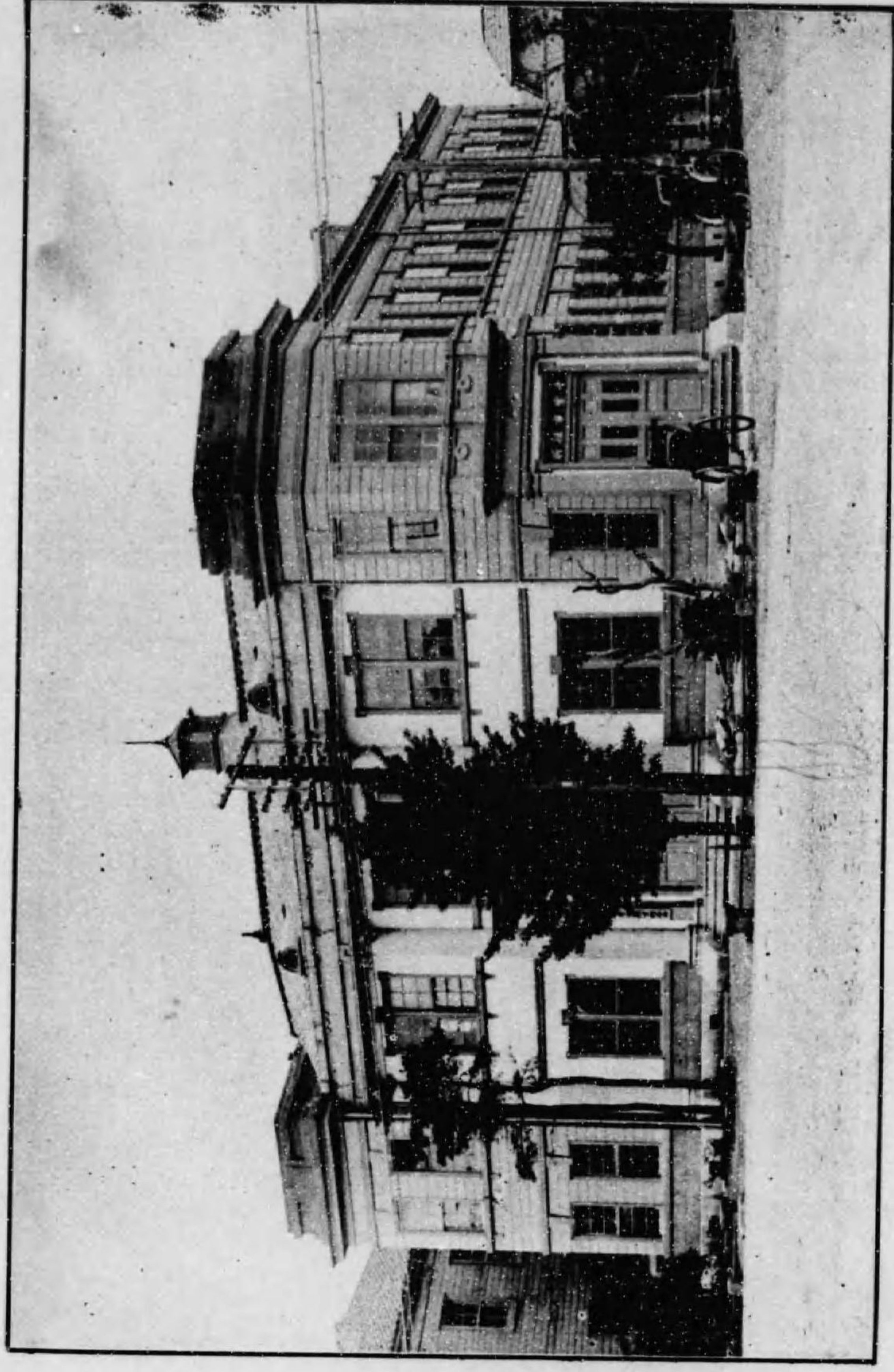


凡 例

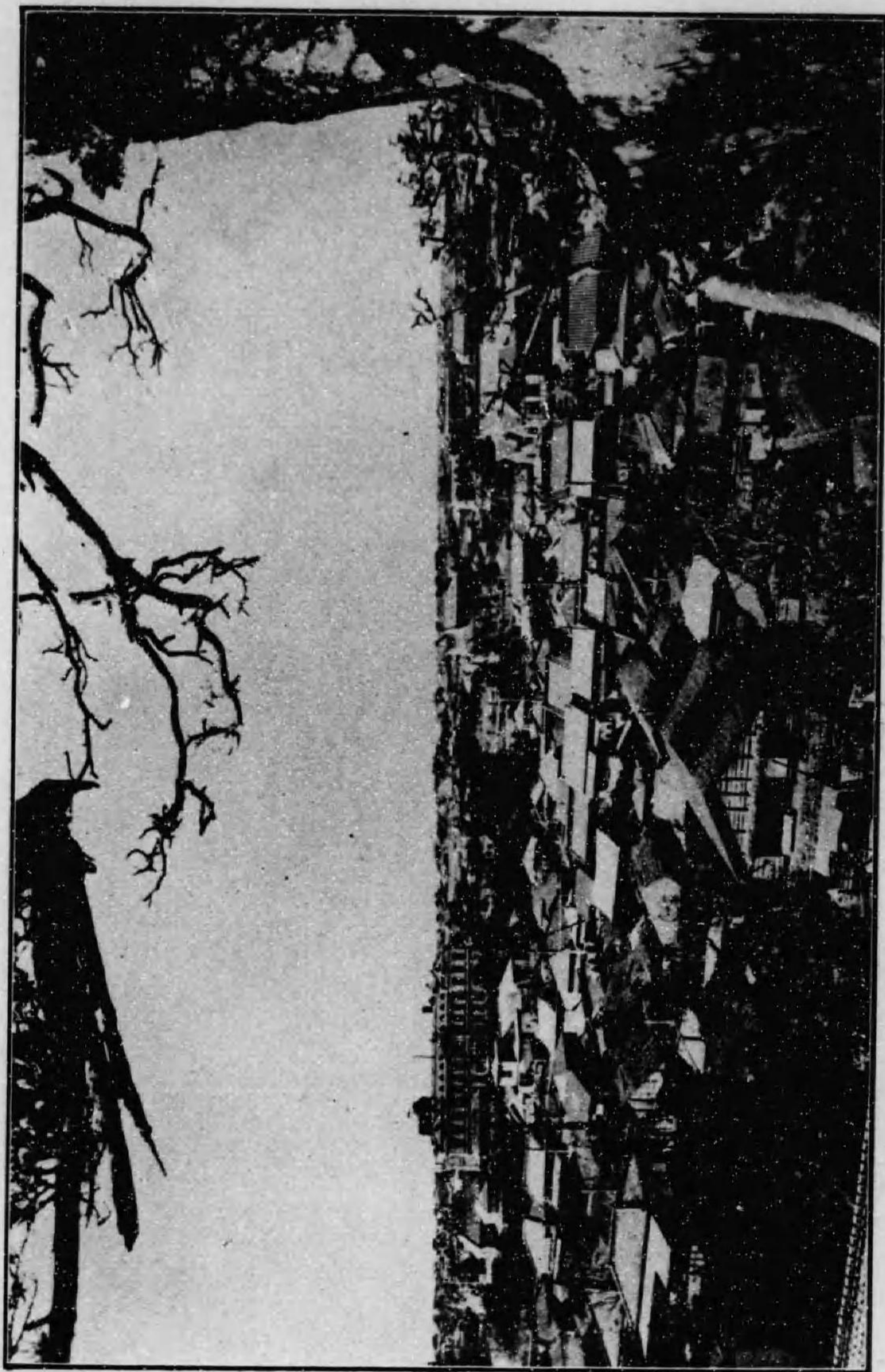
1. 本書ハ我ガ千葉市ノ盛衰ヲ數字的ニ表シ併セテ主ナル名所舊蹟ノ概況ヲ記述スルヲ以テ眼目トセリ。
2. 本書ノ資料ハ成ルベク廣ク且ツ多ク蒐集センコトニ努メタリト雖モ明治二十二年町村制施行以前ノ事實ニ就テハ遺憾ナカラ準據スベキ資料ナキヲ以テ其ノ大要ヲ記述スルニ止メタリ。
3. 本書中記載ノ數位ハ概ネ圓段石貫ヲ以テ單位トシ以下ノ端數ハ四捨五入或ハ適切ニ必要ヲ感ゼザルモノハ之ヲ切捨テタリ而シテ千位、百萬位ニハ[○]ヲ事實不詳ノモノニハ[?]ヲ全ク事實ナキモノニハ[-]ヲ附セリ。
5. 本書中何年トアルハ曆年、何年度トアルハ會計年度間ノ事實ニシテ何年何月何日トアルハ其ノ日ノ現在數ナリ。

數字上ヨリ見タル千葉市ノ變遷目次

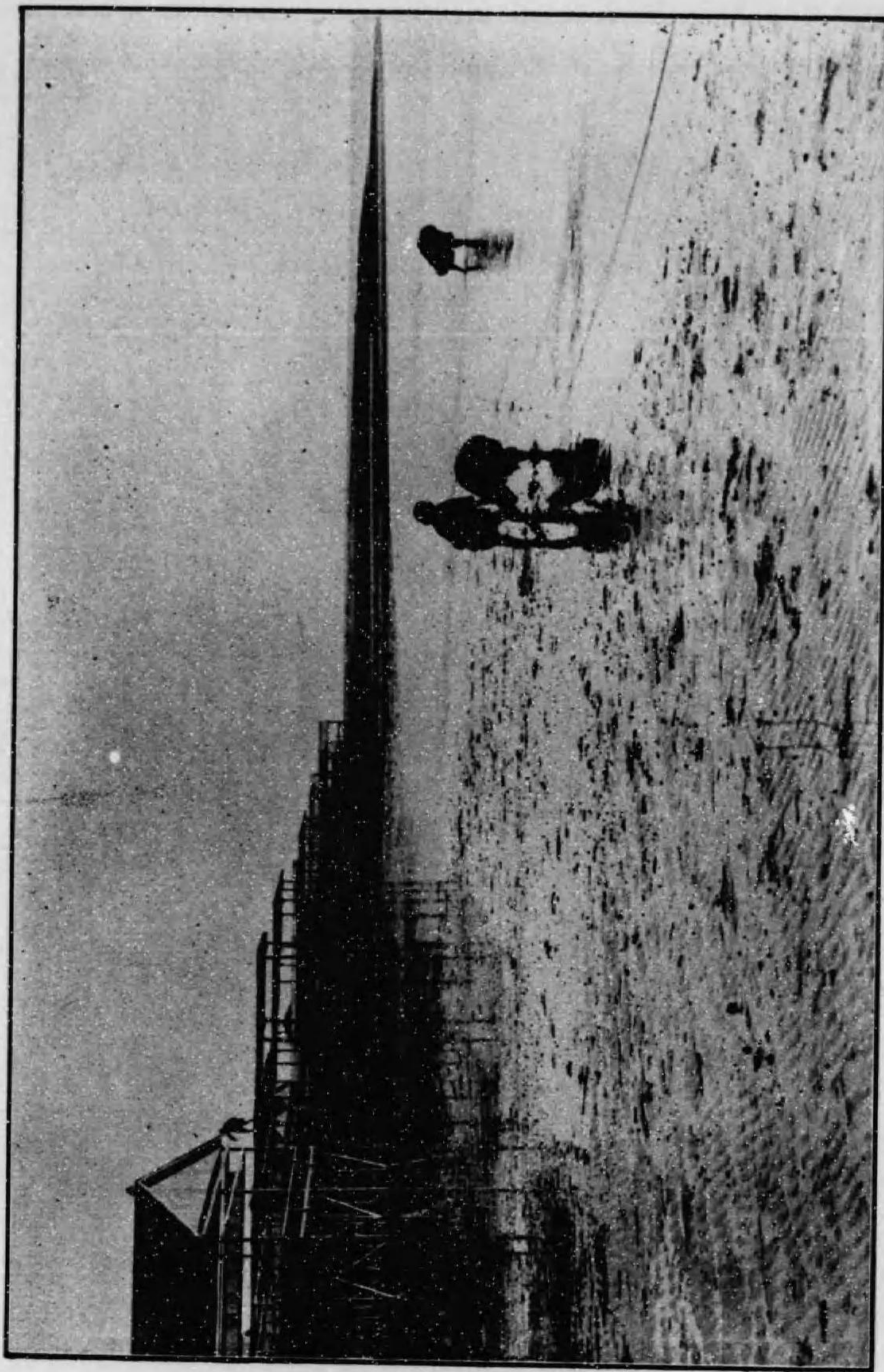
第一	地勢	7
第二	沿革ノ大要	7
第三	歴代首長ノ氏名	8
第四	市勢ノ現況	9
第五	戸數ノ盛衰	15
	1. 現住戸口累年比較表	15
	2. 本籍及出入寄留人口累年比較表	16
	3. 本籍者ノ出生及死亡累年比較表	17
	4. 本籍者ノ婚姻及離婚累年比較表	18
第六	財政	19
	1. 豫算ト一戸及一人當累年比較表	19
	2. 諸稅負擔額累年比較表	19
第七	産業	20
	1. 主要農產物價額累年比較表	20
	2. 主要工產物價額累年比較表	20
	3. 水產物價額累年比較表	21
第八	教育	21
	1. 小學兒童累年比較表	21
	2. 教育費負擔額累年比較表	22
	3. 教育費兒童生徒一人當累年比較表	22



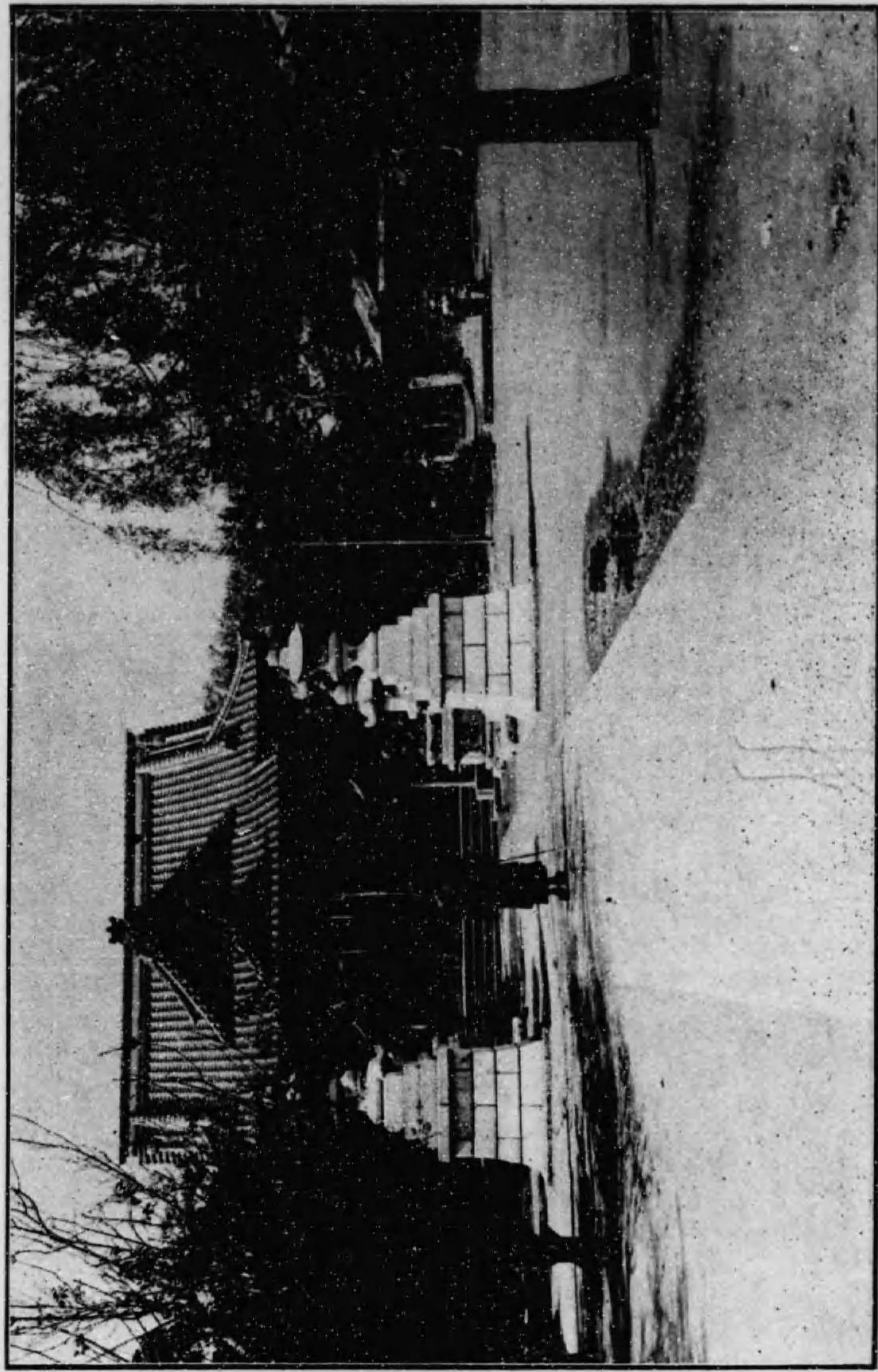
千 葉 市 役 所



千 葉 市 全 景



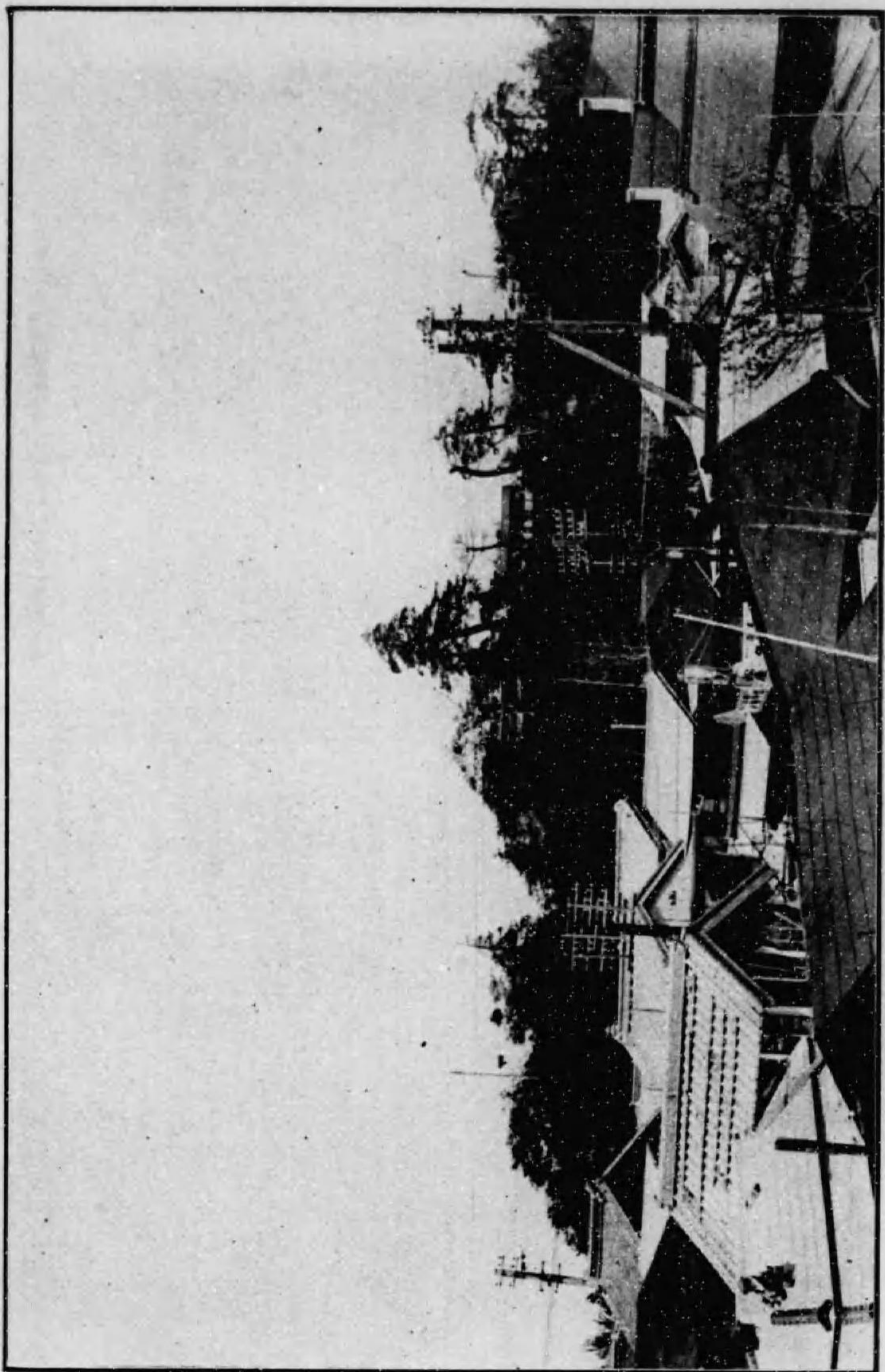
袖ヶ浦海岸



千葉神社



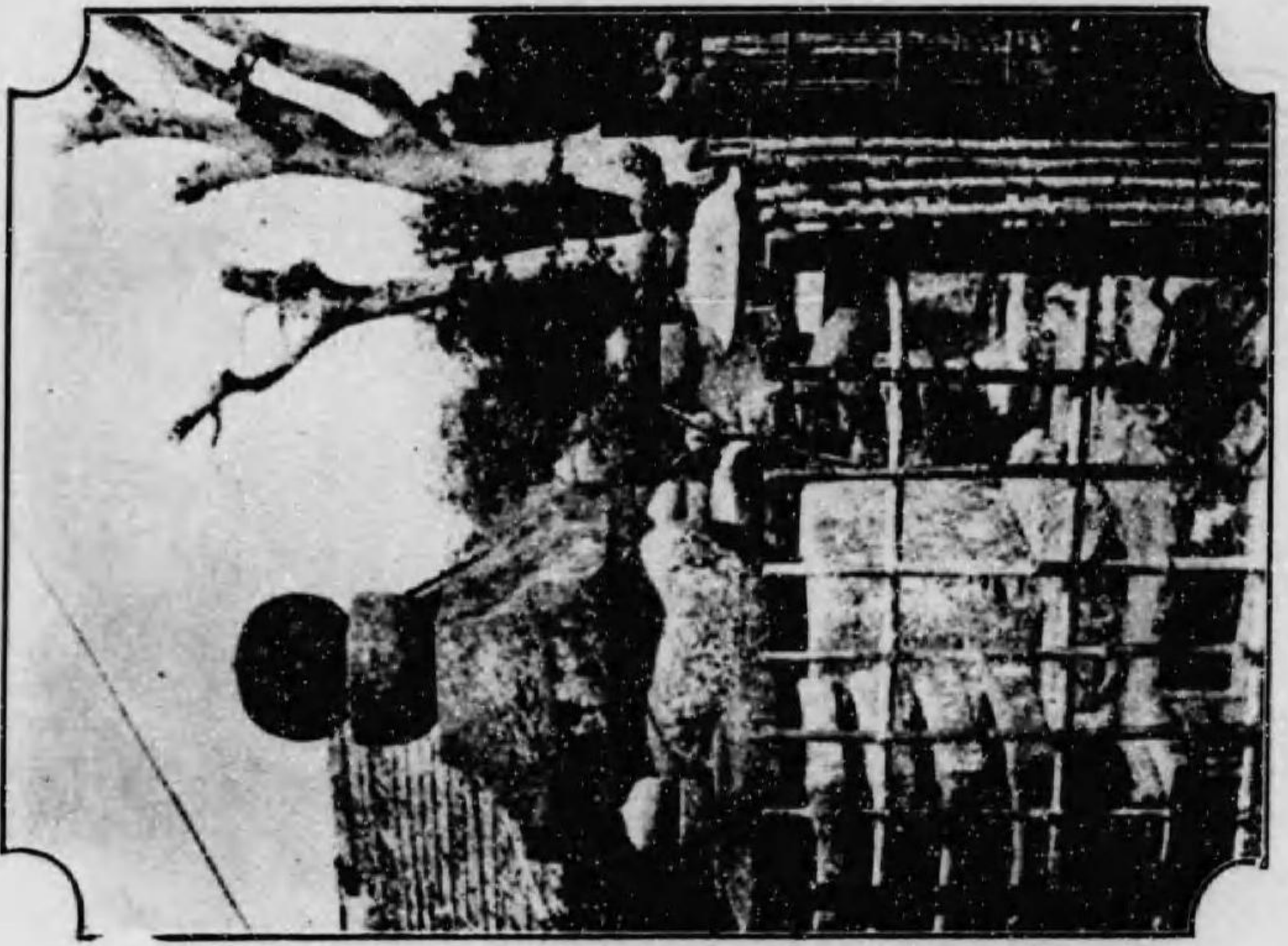
音 観 の 寺 葉 千



猪鼻丘城址

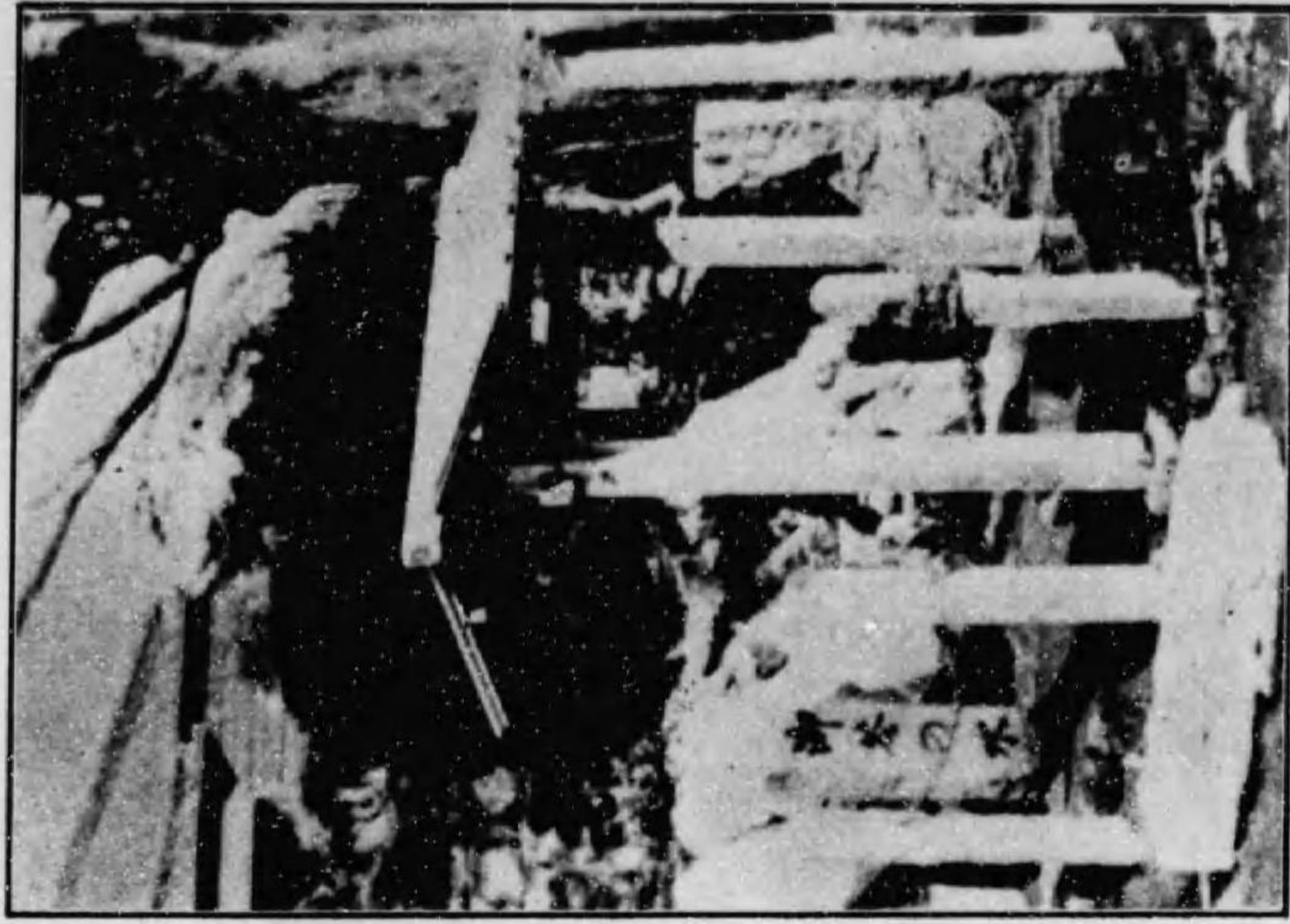


千葉累代の墓

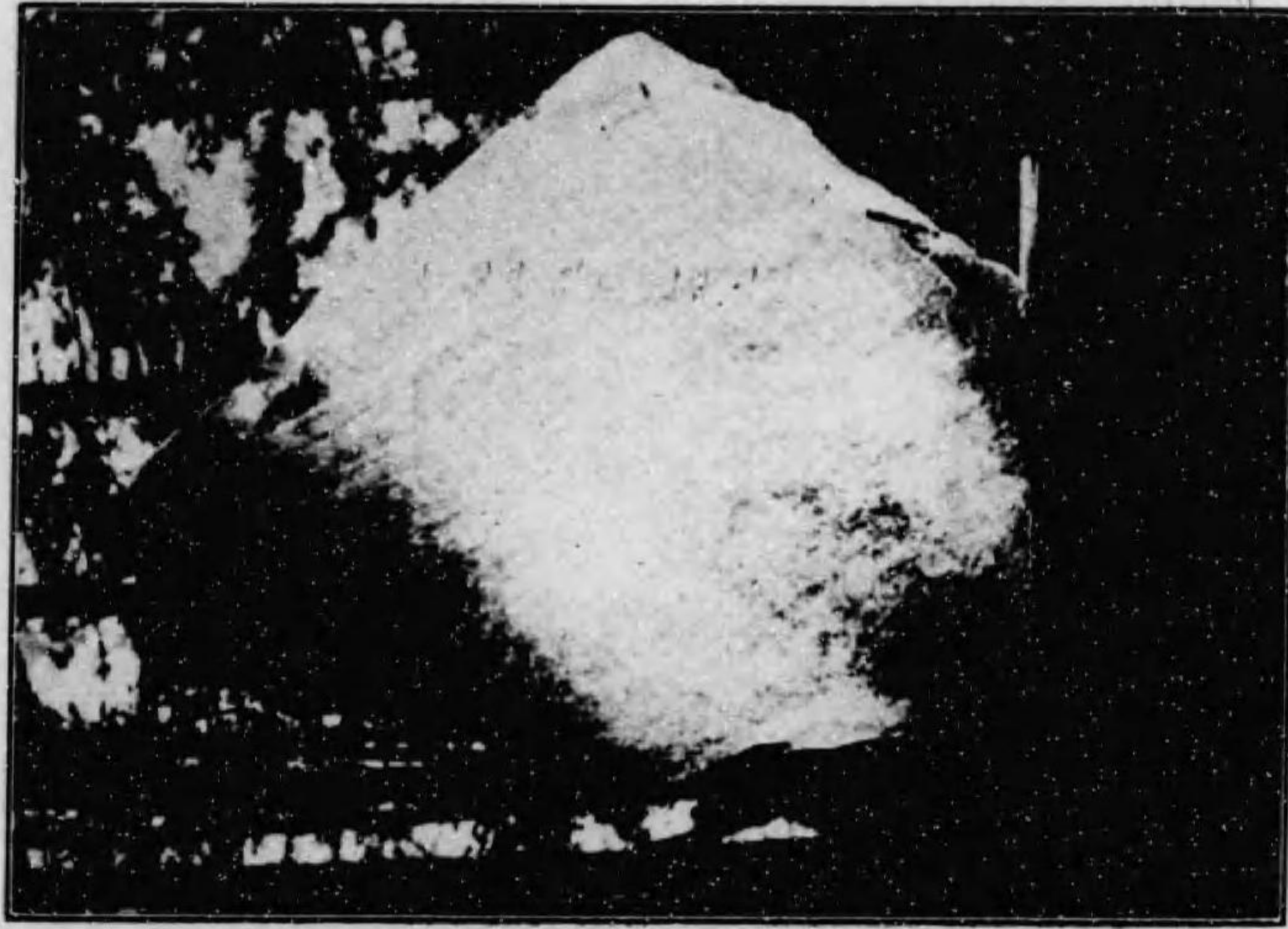




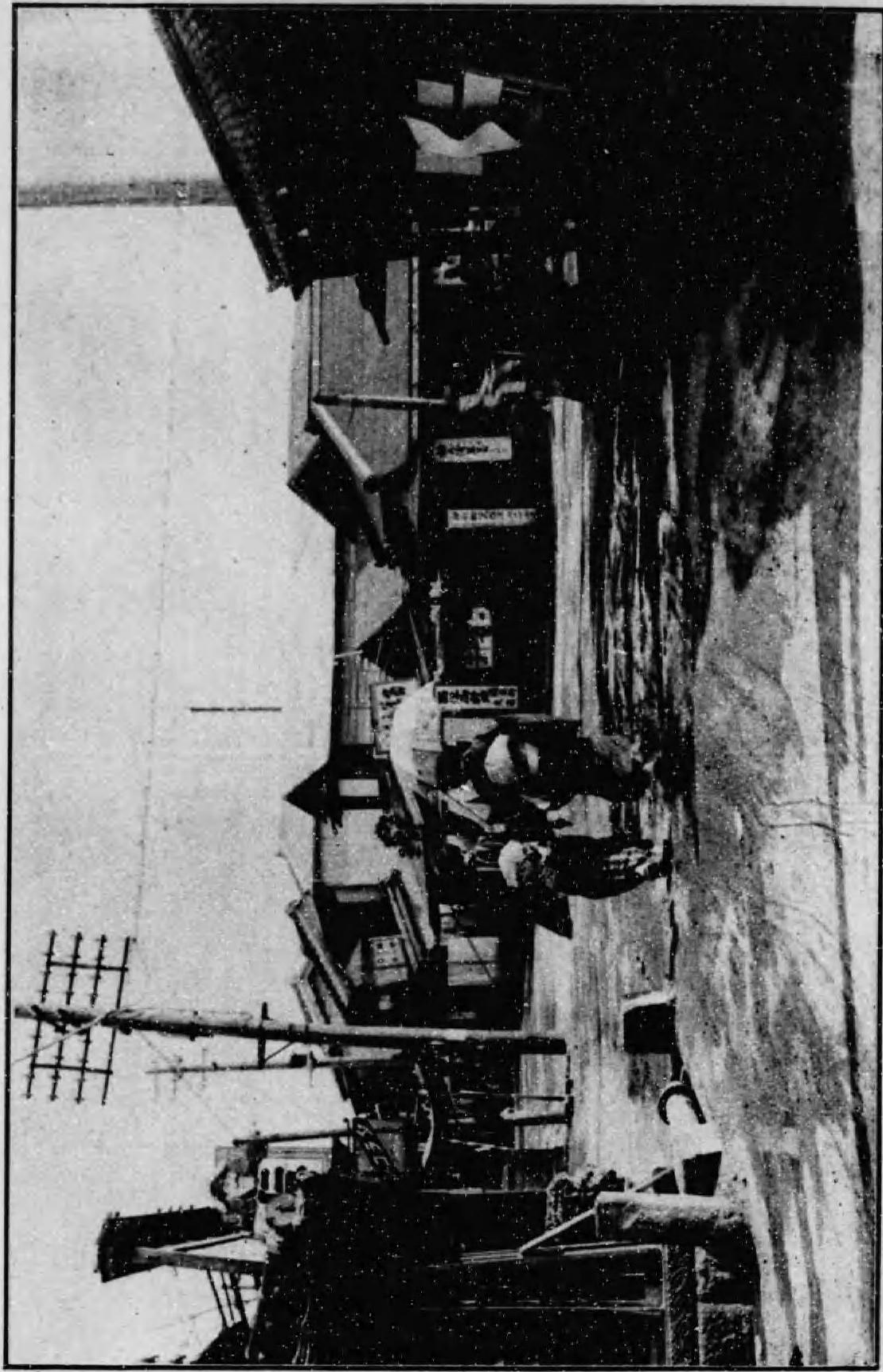
松 衣 羽



御茶の水



布施丹の碑



橋待君

第一 地 勢

我ガ千葉市ハ北緯三十五度三十六分東經零度二十分ニ當リ東京ヲ距ルコト十里下總國千葉郡ノ中央南部ニ位ス、幅員ハ東西十八町南北一里二十町餘ニシテ面積大凡三百餘万歩ナリ、西方一帯東京灣ニ臨ム外其ノ他ハ全部千葉郡ニヨリテ包擁セラル。東北ニ丘陵多ク西南一帯平坦ニシテ南北ニ細長キ一市街地ヲナセリ。往昔千葉郷、池田郷或ハ結城郷等ト稱セラレシコトアリ。市ノ中央ヲ貫流シテ袖ケ浦ニ注ク一川アリ都川ト云フ流域大ナラスト雖モ河口舟楫ノ便アルヲ以テ世ニ知ラル。袖ケ浦ハ波靜ニ海淺ク水面鏡ノ如ク干潮一里餘ニ及ブヲ普通トス蓋シ天然ノ好海水浴場ナリ。

氣候夏季ニ涼シク冬季温暖ナリ、氣温ハ攝氏ノ十八度八分ヨリ十四度八分ノ間ヲ昇降シ時ニ降雪アルモ尺餘ノ積雪ヲ見ルコト極メテ稀ナリ。

第二 沿 革

我ガ千葉市ハ大治元年六月朔日(八百年以前)千葉氏ノ祖常重氏ガ下總權介ニ任セラレ上總ノ大権ヨリ來タリテ此ノ地ニ居ヲ構ヘラレタルニ始マレリ古記録ニヨレバ當時表八千軒裏八千軒合セテ一萬六千軒ヲ有シ關東第一ノ大都會ナリシモ千葉氏中世ノ宗孝胤氏ノ時代ニ城ヲ佐倉ニ移セシ(四百二十一年前)以來甚シク衰微シ終ニハ荒廢セル一漁村トシテ僅ニ其ノ名ヲ存スルニスキザル状態トナレリ、而シテ德川幕末時代ニハ佐倉領ニ屬シ維新ノ際ハ印旛縣ノ管轄トナリ明治六年印旛、木更津ノ二縣ヲ廢シ千葉縣廳ヲ置カル、ヤ其ノ管下ニ屬シ舊來ノ宿名ヲ改メテ千葉町ト稱スルニ至レリ。爾來民家頻リニ加ハリ商賈亦軒ヲ列ネテ市況著シク其ノ

面影ヲ一變シ明治二十二年町村制施行セラル、ヤ從來ノ千葉、寒川、登戸、黒砂、千葉寺ノ五部落ヲ合シテ更ニ千葉町ヲ置カル、ニ至レリ。爾來年ヲ逐フテ人口益々増加シ市況亦著シク隆昌ヲ呈スルニ至リタルヲ以テ大正十年一月更ニ市制ヲ施行シテ以テ今日ノ繁榮ヲ見ルニ至レリ。

第三 歴代首長ノ氏名

古來ヨリノ變遷狀況詳ナラサルヲ以テ茲ニハ町制施行以後ノモノヲ記載スルニ止メタリ。

田村吉右衛門	自明治二十二年五月十七日 至明治二十二年十月?日
秋元茂平治	自明治二十二年十月二十三日 至明治二十四年六月?日
鈴木重雄	自明治二十四年七月十八日 至明治二十八年七月十七日
鈴木太郎吉	自明治二十八年七月十九日 至明治三十八年七月十七日
松山文治	自明治三十八年七月十八日 至明治三十九年四月十九日
加藤久太郎	自明治三十九年六月十七日 至明治四十四年八月二十二日
遠山重義	自明治四十四年十二月七日 至大正四年十二月六日
和田秀之助	自大正六年四月十八日 至大正八年八月八日
神田清治	自大正八年十月十日 至大正九年十二月十一日

市長臨時代理者

神田清治	自大正十年一月一日 至大正十年四月十九日
------	-------------------------

市長

神田清治	自大正十年四月二十日裁可 至大正十三年七月三日辭任裁可
久保三郎	自大正十三年八月四日裁可

第四 市勢ノ現況

本市ハ千葉、寒川、千葉寺、登戸、黒砂ノ五大字ヨリ成リ處務便宜ノ爲メ之ヲ左ノ三十區ニ分テリ。即チ

千葉 市場、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、吾妻町一丁目、吾妻町二丁目、吾妻三丁目、横町、南道場、北道場、東院内、西院内、通町、新町、千葉穴川ノ十五區

寒川 長洲、片町、新田、新宿、向寒川、仲宿、下仲宿、下町ノ八區

千葉寺 千葉寺、五田保ノ二區

登戸 登戸上、登戸中、登戸下、登戸穴川ノ四區

黒砂 黒砂ノ一區

戸數 八千七百八十八 }
人口 四萬一千八百七 } 大正十四年十月一日現在

生業ハ商業ヲ以テ第一トシ農業之ニ次ク、而シテ年々ノ農生産年額四十五萬餘圓ナリ。

工業ハ極メテ不振ニシテ只僅ニ松本米穀製粉株式會社千葉工場、日東製氷株式會社千葉工場、參松合資會社千葉工場ノ外二三アルニスキス

本市一帶海洋ニ瀕シ漁業ニ從事スルモノ少キニアラザルモ海岸遠淺ナルヲ以テ僅ニ小魚及蛤、蛸等ノ漁獲アルニスキズ而シテ其ノ漁獲高魚類四萬餘圓、介類六萬餘圓ナリ。

乾介、栗漬ハ本市名物トシテ世ニ稱セラレ乾介ハ保存ニ適シ少シ焼クトキハ天然ノ風味ヲ生シ酒肴等ニ最モ適ス。栗漬亦酒肴及副食ニ適ス。

交通機關ハ比較的發達シ市中ヲ縱横ニ貫通スル國縣市道ノ外總武房總ノ二線及東京千葉間ヲ往復スル京成電軌ノ一線リアテ交通至テ便利ナリ。鐵道ハ何レモ千葉ヨリ分岐シ總武線ハ東ニ走リ佐倉ヨリ分レテハ銚子ニ一ハ成田ニ房總線ハ南ニ走リ蘇我ニテ分レハ西海岸ヲ木更津ニ他ハ房總ヲ横斷シ東海岸ニ出ツ。最近一日ノ乗降客三万四千人ヲ降ラス。海運ハ袖ヶ浦ヨリ一直線ニ帝都ニ到ルベキモ遠淺ナルヲ以テ汽船ノ便ナク只和船ノ往來アルニスキス。

本市所在ノ社寺、官衙學校及ビ銀行會社左ノ如シ

神 社		
神社名	祭 神 名	所 在
千葉神社	天御中主命	東 院 内
香取神社	經津主命	東 院 内
八坂神社	須佐之男命	横 町
天神社	菅原亟公	新 町
神明社	天照皇太神	市 場
石尊神社	堀田相模ノ守	千 葉 穴 川
稻荷神社	久々能知命、草野知昆賣命、豐字氣昆賣命	五 田 保
登渡神社	天御中主命	登 戸
寒川神社	寒川比古命、寒川比賣命、天照皇太神	寒 川 仲 宿
神明社	天照大御神	向 寒 川
白幡神社	譽田別命、息長定姬命	新 宿
淺間神社	木花開耶比賣命	黒 砂

龍藏神社	海津見神	千 葉 寺
道祖神社	八衢彦命	千 葉 穴 川
龍藏社	海津見神	寒 川 長 洲

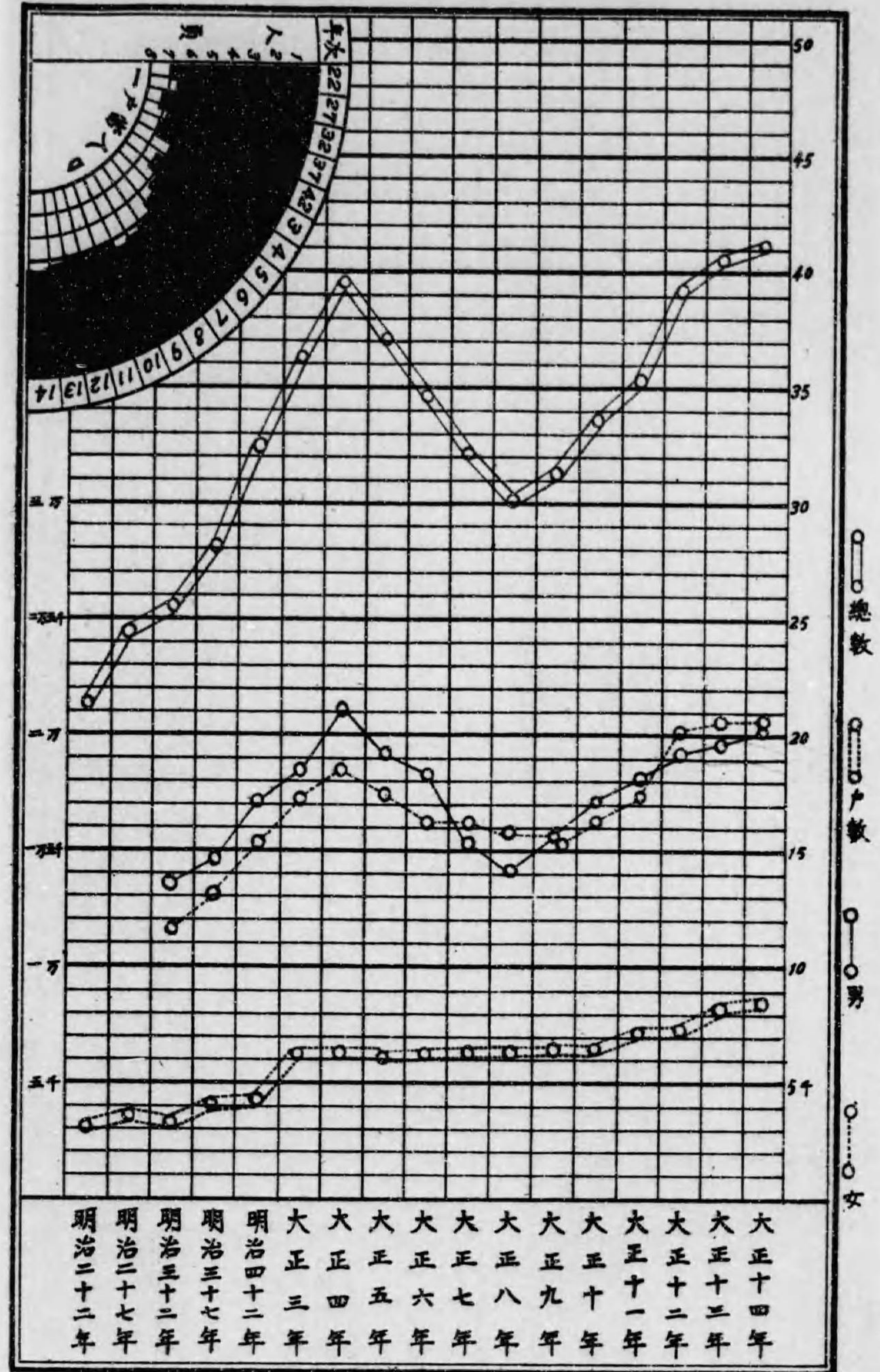
寺 院

寺院名	宗 派 名	所 在
大日寺	真言宗豊山派	通 町
胤重寺	淨土宗鎮西派	市 場
來迎寺	淨土宗鎮西派	北 道 場
高德寺	曹洞宗	市 場
東禪寺	曹洞宗	市 場
宗胤寺	曹洞宗	吾妻町三丁目
智光院	真言宗	市 場
光明寺	真言宗	吾妻町二丁目
寶幢院	真言宗	東 院 内
本敬寺	日蓮宗	本 町 一 丁 目
本圓寺	顯本法華宗	本 町 一 丁 目
光明院	真言宗豊山派	寒 川 仲 宿
滿藏寺	曹洞宗	寒 川 片 町
海藏寺	曹洞宗	寒 川 新 宿
千葉寺	真言宗新義派	千 葉 寺

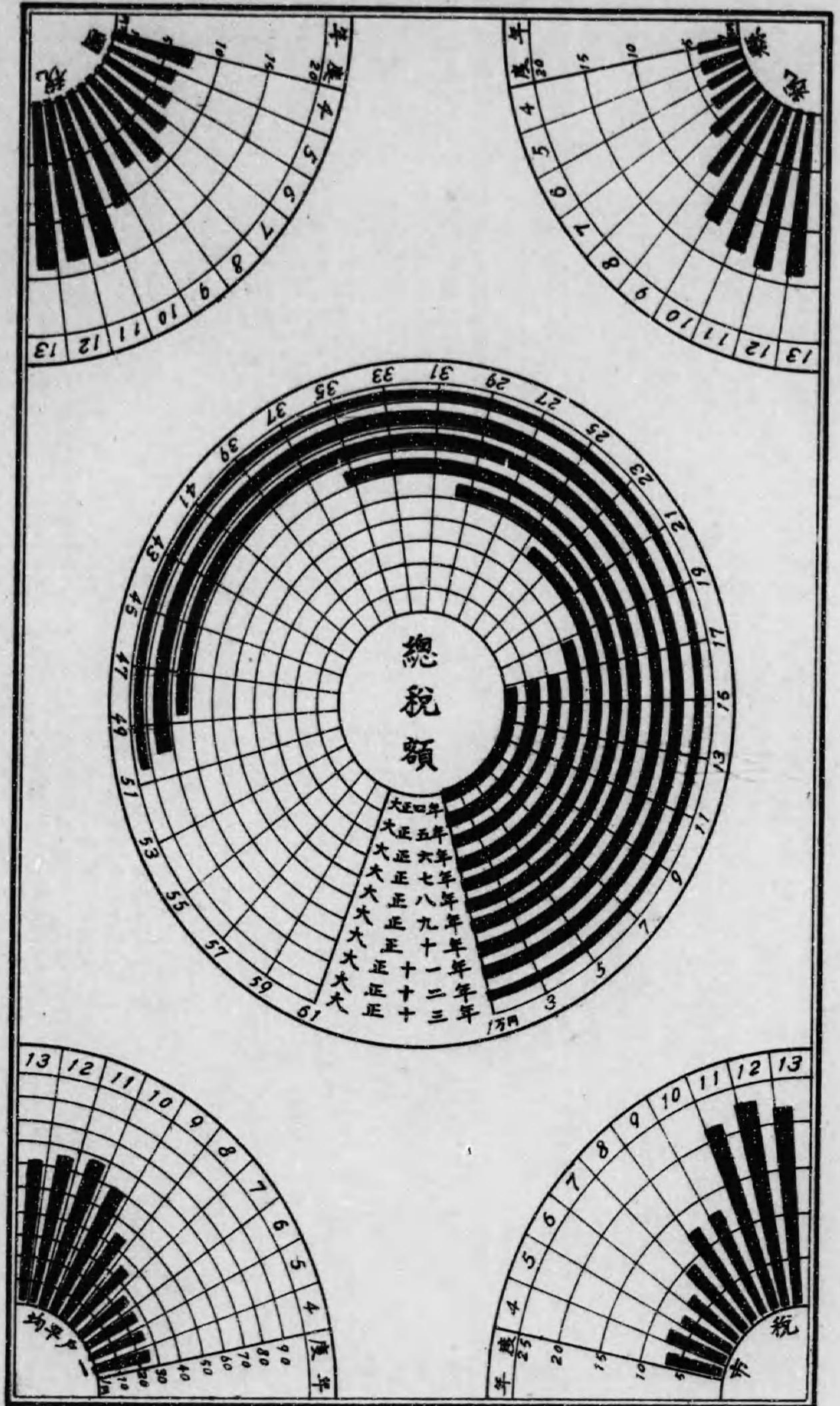
官 衙

千 葉 縣 廳 (寒 川 長 洲) 千 葉 地 方 裁 判 所 (吾 妻 町 三 丁 目)

現住人口累年比較表



諸稅負擔額



第五 戶口ノ盛衰

1. 現住戶口累年比較表 △印ノ減

年次	戸數	人 口			一戸平均 人 口	前年ニ比 シ増減
		男	女	計		
明治二十二年.....	3,194	?	?	21,573	6.8	?
明治二十三年.....	3,371	?	?	22,740	6.8	1,167
明治二十四年.....	3,608	?	?	23,518	6.5	778
明治二十五年.....	3,748	?	?	23,963	6.4	445
明治二十六年.....	3,842	?	?	24,661	6.4	698
明治二十七年.....	3,891	?	?	24,865	6.4	204
明治二十八年.....	3,932	?	?	25,697	6.5	832
明治二十九年.....	4,056	?	?	26,339	6.5	642
明治三十年.....	4,244	?	?	27,713	6.5	1,374
明治三十一年.....	3,568	?	?	25,464	7.1	△ 2,249
明治三十二年.....	3,648	13,927	11,960	25,887	7.1	423
明治三十三年.....	3,632	14,139	12,169	26,308	7.2	421
明治三十四年.....	3,740	14,382	12,420	26,802	7.2	494
明治三十五年.....	3,861	14,709	12,694	27,403	7.1	601
明治三十六年.....	3,988	14,984	12,960	27,944	7.0	541
明治三十七年.....	4,154	14,897	13,185	28,082	6.8	138
明治三十八年.....	4,025	15,076	13,772	28,848	7.2	766
明治三十九年.....	4,078	15,527	14,517	30,044	7.4	1,196
明治四十年.....	4,358	16,316	15,167	31,483	7.2	1,439
明治四十一年.....	4,664	16,687	15,470	32,157	6.8	674
明治四十二年.....	4,739	17,189	15,514	32,703	6.9	546
明治四十三年.....	5,207	17,801	16,105	33,906	6.5	1,203
明治四十四年.....	5,537	18,535	16,775	35,310	6.4	1,404
大正元年.....	5,644	18,648	17,218	35,866	6.4	556
大正二年.....	6,054	18,127	17,184	35,311	5.8	△ 555
大正三年.....	6,159	18,853	17,509	36,362	5.9	1,051
大正四年.....	6,243	21,008	18,932	39,940	6.4	3,578
大正五年.....	6,253	19,367	17,718	37,085	5.9	△ 2,855
大正六年.....	6,325	18,223	16,599	34,822	5.5	△ 2,263
大正七年.....	6,441	15,692	16,390	32,082	5.0	△ 2,740
大正八年.....	6,441	14,059	16,144	30,203	4.7	1,879
大正九年.....	6,606	15,869	15,710	31,579	4.8	1,376
大正十年.....	6,918	17,093	16,794	33,887	4.9	2,308
大正十一年.....	7,189	18,062	17,636	35,698	5.0	1,811
大正十二年.....	7,885	19,246	20,208	39,454	5.0	3,756
大正十三年.....	8,380	19,957	20,890	40,847	4.9	1,393
大正十四年.....	8,620	20,182	20,907	41,089	4.8	242

2. 本籍及出入寄留人口比較表

年次	本籍人口			出寄留人口			入寄留人口		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
明治二十二年	7,146	7,262	14,408	?	?	1,020	?	?	8,185
明治二十三年	7,251	7,392	14,643	?	?	1,075	?	?	9,172
明治二十四年	7,296	7,453	14,749	?	?	1,125	?	?	9,894
明治二十五年	7,336	7,567	14,903	?	?	1,232	?	?	10,292
明治二十六年	7,464	7,670	15,134	?	?	1,341	?	?	10,868
明治二十七年	7,567	7,761	15,328	?	?	1,545	?	?	11,082
明治二十八年	7,687	7,854	15,541	?	?	1,603	?	?	11,759
明治二十九年	7,762	7,899	15,661	?	?	1,837	?	?	12,515
明治三十年	7,891	7,998	15,889	?	?	2,077	?	?	13,901
明治三十一年	8,151	8,261	16,412	960	1,316	2,276	6,441	4,907	11,348
明治三十二年	7,279	6,950	14,229	1,057	1,396	2,453	6,648	5,010	11,658
明治三十三年	8,521	7,027	17,073	1,185	1,525	2,710	6,803	5,142	11,945
明治三十四年	8,783	8,798	17,581	1,316	1,640	2,956	6,915	5,262	12,177
明治三十五年	8,953	9,035	17,988	1,454	1,761	3,215	7,210	5,420	12,630
明治三十六年	9,134	9,118	18,252	1,698	1,882	3,580	7,548	5,724	13,272
明治三十七年	9,323	9,283	18,605	2,017	2,078	4,095	7,591	5,980	13,571
明治三十八年	9,390	9,573	18,963	2,103	2,192	4,295	7,789	6,391	14,180
明治三十九年	9,458	9,649	19,107	2,007	1,832	3,839	8,076	6,700	14,776
明治四十年	9,590	9,842	19,432	2,140	1,966	4,106	8,866	7,291	16,157
明治四十一年	9,725	9,988	19,713	2,370	2,166	4,536	9,332	7,648	16,980
明治四十二年	10,392	10,210	20,602	2,887	2,635	5,522	9,684	7,939	17,623
明治四十三年	10,664	10,427	21,091	3,082	2,759	5,841	10,219	8,437	18,656
明治四十四年	10,878	10,616	21,494	3,117	2,828	5,945	10,774	8,987	19,761
大正元年	10,769	10,940	21,709	3,265	3,024	6,289	11,144	9,302	20,446
大正二年	11,035	11,149	22,184	3,826	3,111	6,937	10,918	9,146	20,064
大正三年	11,295	11,420	22,715	4,182	3,448	7,630	11,740	9,537	21,277
大正四年	11,605	11,653	23,258	4,687	4,007	8,694	14,090	11,286	25,376
大正五年	11,712	11,773	23,485	4,795	4,103	8,898	12,450	10,048	22,498
大正六年	12,469	11,956	24,425	4,925	4,192	9,117	10,679	8,835	19,514
大正七年	12,036	12,202	24,238	5,968	4,717	10,685	9,624	8,905	18,529
大正八年	12,202	12,412	24,614	5,883	4,881	10,764	7,740	8,613	16,353
大正九年	12,340	12,540	24,880	2,873	2,638	5,511	6,402	5,808	12,210
大正十年	12,586	12,819	25,405	2,735	2,603	5,338	7,242	6,578	13,820
大正十一年	12,884	13,002	25,886	2,578	2,251	4,829	7,756	6,885	14,641
大正十二年	13,080	13,244	26,324	2,701	1,903	4,604	8,867	8,867	17,734
大正十三年	13,434	13,545	26,979	2,801	1,990	4,791	9,324	9,335	18,659

3. 本籍者ノ出生及死亡比較表

年次	出生			死亡			本籍人口 百人=付	
	男	女	計	男	女	計	出生	死亡
明治二十二年	239	232	471	173	172	345	3.3	2.4
明治二十三年	15	204	419	177	141	318	2.9	2.3
明治二十四年	213	194	407	179	164	343	2.8	2.3
明治二十五年	212	229	441	196	178	374	3.0	2.5
明治二十六年	221	209	430	127	157	284	2.8	1.9
明治二十七年	239	229	468	163	141	304	3.1	2.0
明治二十八年	205	224	429	157	148	305	2.8	2.0
明治二十九年	216	211	427	150	150	300	2.7	1.9
明治三十年	271	313	484	204	167	371	3.0	2.3
明治三十一年	281	241	522	169	172	341	3.2	2.1
明治三十二年	296	263	559	206	209	415	3.9	2.9
明治三十三年	278	276	554	185	190	375	3.2	2.1
明治三十四年	326	335	661	184	173	357	3.8	2.0
明治三十五年	334	309	669	233	190	423	2.7	2.4
明治三十六年	342	293	635	195	189	384	3.5	2.1
明治三十七年	354	309	663	223	208	431	3.6	2.3
明治三十八年	330	356	686	243	187	430	3.6	2.3
明治三十九年	307	263	570	238	206	444	3.0	2.3
明治四十年	380	353	733	327	180	507	3.8	2.6
明治四十一年	349	359	708	235	201	436	3.9	2.2
明治四十二年	355	339	694	253	181	434	3.4	2.1
明治四十三年	358	369	727	246	230	476	3.4	2.3
明治四十四年	379	341	720	246	177	423	3.4	2.0
大正元年	392	400	792	234	224	458	3.6	2.1
大正二年	462	466	928	294	289	583	4.2	2.6
大正三年	574	476	1,050	358	315	671	4.6	3.0
大正四年	578	530	1,108	346	327	673	4.8	2.9
大正五年	362	388	750	282	269	551	3.2	2.3
大正六年	380	410	790	288	254	542	3.2	2.2
大正七年	405	365	770	321	293	614	3.2	2.5
大正八年	432	386	818	297	280	577	3.3	2.3
大正九年	454	414	868	371	299	670	3.5	2.7
大正十年	452	446	898	301	259	560	3.5	2.2
大正十一年	420	411	831	292	250	542	3.2	2.1
大正十二年	438	431	869	364	301	665	3.3	2.5
大正十三年	435	425	860	289	226	515	3.2	1.9
大正十四年	474	425	899	344	244	586	2.2	1.4

4. 本籍者ノ婚姻及離婚

年次	婚姻	離婚	本籍人口千=付		婚姻百=付 離婚
			婚姻	離婚	
明治二十二年	?	?	?	?	?
明治二十三年	152	45	10.4	3.1	29.6
明治二十四年	113	33	7.7	2.3	29.2
明治二十五年	119	15	8.0	1.0	12.6
明治二十六年	94	30	6.2	2.0	31.9
明治二十七年	106	32	6.9	2.1	30.2
明治二十八年	160	33	10.3	2.1	20.6
明治二十九年	198	49	12.6	3.1	24.8
明治三十年	152	48	9.6	1.8	18.4
明治三十一年	154	24	9.3	1.5	15.6
明治三十二年	152	20	10.7	1.4	13.2
明治三十三年	156	20	9.1	1.2	12.8
明治三十四年	220	30	?	?	13.6
明治三十五年	235	25	13.1	1.4	10.6
明治三十六年	218	39	11.9	2.1	17.8
明治三十七年	227	45	12.2	2.4	19.8
明治三十八年	344	33	19.2	2.0	11.0
明治三十九年	280	55	14.7	2.9	19.6
明治四十年	338	38	17.4	2.0	12.1
明治四十一年	337	44	17.1	2.2	13.0
明治四十二年	318	43	15.4	2.1	13.5
明治四十三年	325	49	15.5	2.3	15.1
明治四十四年	311	40	14.5	1.9	12.9
大正元年	339	40	15.6	1.8	11.8
大正二年	338	41	15.2	1.8	12.1
大正三年	378	40	16.6	1.7	10.6
大正四年	313	35	12.5	1.5	11.2
大正五年	354	24	15.1	1.0	6.8
大正六年	342	53	14.0	2.2	15.5
大正七年	394	41	16.3	1.7	10.4
大正八年	461	49	18.7	2.0	10.6
大正九年	429	45	17.2	1.8	10.5
大正十年	593	33	15.5	1.3	8.4
大正十一年	526	43	20.3	1.7	8.2
大正十二年	415	34	15.8	1.3	8.2
大正十三年	337	38	12.5	1.4	11.3
大正十四年	469	48	?	?	?

第六 財 政

1. 豫算ト一戸及一人當リ累年比較表

年次	豫算			現住人一人當リ	現住戸數一戸當リ
	經常部	臨時部	計		
大正三年	54,605	39,347	93,952	2.58	15.25
大正四年	62,440	24,777	87,217	2.18	13.97
大正五年	57,109	23,477	80,586	2.17	12.89
大正六年	63,015	34,665	97,680	2.70	15.44
大正七年	67,963	64,549	132,512	4.13	20.67
大正八年	81,108	48,183	129,291	4.28	20.07
大正九年	124,240	75,514	199,754	6.33	30.24
大正十年	150,717	25,039	175,756	5.19	25.42
大正十一年	193,682	218,390	412,072	11.54	57.32
大正十二年	222,389	171,331	393,720	9.98	49.93
大正十三年	244,909	91,220	336,129	8.23	40.11
大正十四年	253,691	112,224	365,965	8.91	42.49
大正十五年	270,082	96,761	366,843	?	?

2. 諸稅負擔額累年比較表

年次	直接國稅	縣稅	市稅	計	現住人口一人當リ負擔額	現住戸數一戸當リ負擔額
大正四年	73,262	30,710	65,841	169,813	4.25	27.14
大正五年	61,589	39,640	68,621	169,850	4.59	27.16
大正六年	64,177	38,369	62,988	165,534	4.75	26.17
大正七年	77,523	42,917	66,985	187,425	5.84	29.10
大正八年	90,668	57,270	96,696	244,636	8.10	37.98
大正九年	80,150	84,510	127,493	292,153	9.25	44.23
大正十年	103,858	112,019	134,464	350,341	10.57	50.64
大正十一年	142,314	136,203	210,928	489,445	13.71	68.08
大正十二年	138,648	139,820	222,469	500,937	12.70	63.53
大正十三年	146,351	142,771	215,421	504,300	12.35	60.18

第七 產 業

1. 主要農產物價額累年比較表

年 次	米	麥	甘 薯	馬鈴薯	青 芋	蘿 蔔	其ノ他	計
大正三年	55,975	32,003	59,113	3,598	2,204	3,515	23,909	180,317
大正四年	60,866	42,343	66,474	2,996	3,244	6,252	22,240	204,415
大正五年	48,956	34,452	70,338	5,368	5,893	6,214	22,975	194,196
大正六年	70,230	52,401	71,249	4,812	5,923	6,974	28,958	249,018
大正七年	108,331	86,932	94,742	6,133	5,765	7,920	39,195	349,018
大正八年	199,100	98,449	135,267	9,510	9,516	14,759	53,058	519,699
大正九年	227,873	86,720	115,400	2,896	8,145	11,718	54,785	507,537
大正十年	142,152	48,486	131,693	4,032	13,392	36,920	55,620	432,291
大正十一年	141,952	49,721	123,928	8,925	10,408	17,685	29,654	382,273
大正十二年	153,166	50,543	103,968	10,554	11,328	19,275	55,147	403,981
大正十三年	129,061	62,698	152,044	12,120	10,819	16,330	44,166	427,887
大正十四年	133,061	106,191	130,796	11,17	10,874	15,787	37,719	445,602

2. 主要工產物價額累年比較表

年 次	和 紙	マニラ麻	皮革製品	麵 類	澱 粉	麥 粉	其ノ他	計
大正四年	2,609	115,850	10,200	120	16,916	—	76,285	221,980
大正五年	2,790	135,260	10,600	180	61,088	—	94,554	304,472
大正六年	9,640	230,700	8,160	180	116,034	—	102,601	467,315
大正七年	28,560	27,070	11,220	320	120,634	—	152,354	340,158
大正八年	34,425	13,840	11,900	750	158,767	—	232,782	452,464
大正九年	56,400	9,148	32,638	55,050	229,055	—	209,947	592,238
大正十年	43,868	—	21,330	15,300	24,678	240,625	232,348	578,149
大正十一年	34,770	—	48,186	13,589	75,486	214,784	313,021	699,846
大正十二年	24,000	—	88,704	17,214	33,221	1,066,908	570,394	1,800,441
大正十三年	31,938	—	90,048	17,333	29,209	2,364,509	494,202	3,027,239
大正十四年	38,944	—	90,392	16,854	41,657	2,354,093	464,364	3,006,304

3. 水產物價額累年比較表

年 次	漁獲物價額	水產製造物價額	養殖場產額價額	計
大正四年	32,384	13,929	20,412	66,725
大正五年	38,356	13,489	13,602	65,526
大正六年	19,766	12,989	10,681	43,436
大正七年	33,612	26,600	18,600	78,812
大正八年	56,002	40,401	35,848	132,251
大正九年	66,256	66,085	43,103	175,444
大正十年	136,650	54,153	76,908	267,711
大正十一年	38,009	51,809	72,040	161,858
大正十二年	62,612	93,959	85,478	242,049
大正十三年	69,773	162,793	99,698	332,264
大正十四年	47,348	124,656	83,415	255,429

第八 教 育

1. 小學兒童累年比較表

年 次	市小學兒童	附屬小學兒童	計	前年之比 增減實數	現住人口千 二付增減步 合
大正四年	3,164	1,129	4,293	167	4.2
大正五年	3,073	1,067	4,140	(-)153	(-)4.1
大正六年	3,133	1,083	4,217	77	2.2
大正七年	3,162	1,160	4,322	105	3.3
大正八年	3,307	1,125	4,432	110	3.6
大正九年	3,419	1,111	4,530	98	3.1
大正十年	3,883	998	4,878	348	11.0
大正十一年	4,170	816	4,986	108	3.0
大正十二年	4,571	857	5,428	442	11.2
大正十三年	4,610	859	5,469	41	1.0

2. 教育費負擔額累年比較表

年次	豫算			現住人口一人當負擔額	現住戶數一人當負擔額
	經常部	臨時部	計		
大正四年	24,131	1,573	25,704	60	4.12
大正五年	24,315	4,134	28,265	76	4.52
大正六年	25,485	200	25,685	74	4.06
大正七年	28,937	140	29,077	91	4.51
大正八年	30,040	—	30,040	99	4.66
大正九年	51,727	250	86,433	2.74	13.24
大正十年	68,684	250	68,934	2.02	9.95
大正十一年	86,428	182,415	268,843	7.53	37.40
大正十二年	105,958	107,790	213,748	5.42	27.11
大正十三年	124,491	30,582	155,073	3.80	19.05
大正十四年	123,276	49,210	172,486	4.20	20.01

3. 教育費兒童生徒一人當累年比較表

年次	小學校			商業學校			實業補習學校		
	校費	兒童	兒童一人當經費	校費	生徒	生徒一人當經費	校費	生徒	生徒一人當經費
大正四年	25,163	3,614	7.95	—	—	—	441	68	6.49
大正五年	27,931	3,073	9.09	—	—	—	418	74	5.65
大正六年	24,800	3,133	7.95	—	—	—	785	62	12.66
大正七年	27,692	3,162	8.76	—	—	—	1,285	59	21.78
大正八年	28,462	3,307	8.61	—	—	—	1,478	90	16.42
大正九年	83,557	3,419	24.44	—	—	—	2,776	35	79.31
大正十年	65,987	3,880	17.01	—	—	—	2,847	76	37.46
大正十一年	256,100	4,170	60.14	—	—	—	12,643	69	183.23
大正十二年	178,233	4,571	38.98	26,895	99	407.50	704	129	5.46
大正十三年	140,477	4,610	30.47	12,366	116	106.60	1,410	162	8.70

附錄
名勝舊蹟

附 録 名 勝 舊 蹟

◎袖ヶ浦海岸

寒川大橋ヨリ西南方都川ノ緩派溶漾トシテ注ギ一望活渺碧波白帆ヲ浮ブルノ邊稱シテ袖ヶ浦又ハ寒川浦ト云フ。

浦ハ遠淺ニシテ波靜ニ水面恰モ鏡ノ如クナレド潮ノ干満ハ急ニシテ干潮一里餘ニ及ビ天然ノ好海水浴場ナリ。

千葉ノ歴史ヲ知ルモノ濱ニ遊ビテハ源右府ガ義兵ヲ舉グルニ當リ常胤ノ應援ニ依リテ(七百四十九年前)此ノ地ニ來レル當年英雄ノ心事ヲ推想スベク更ラニ遡レバ(九百九十一年前)承平矢慶ノ亂ニ際シテハ寒川ノ海ガ鎌倉ヨリ常陸方面ヘノ進軍ノ航路ニアリシヲ思ヘバ甲冑ヲ着ケタル平家ノ武士ガ和船ニ赤旗ヲ翻シテ來往セシ狀ナド亦聯想スルヲ禁ジ得ザルベシ。

◎千葉神社

承平天慶ノ昔(九百八十五年前)平ノ將門叛旗ヲ翻スヤ一族良文出デ、之ヲ誅討セントセシモ大敗ニ歸シ一度死ヲ決シタルモ從者ノ進言ヲ容レ再ビ陣ヲ布キタルニ味方ノ軍勢四方ヨリ參集シ百騎バカリトナリシモ將門ノ軍多勢ニシテ衆寡敵セズ良文將又危カラントスル時俄然迅雷天地ヲ振動シ乾坤爲メニ晦冥恰モ數万ノ伏兵一時ニ起テ良文ノ軍勢ニ味方スルモノアルカ如ク見エ勢頓ニ加フルニ反シ敵ハ急ニ氣ヲ喪ヒ將門將ニ危機一髮ノ境ニ陥リタリ、斯クテ霎時ニシテ天晴レントスル時金色ノ垂直ニ白妙ノ袴ヲ着シタル童子雲間ニ現ハレ瞬時ニシテ影消エ失セケレバ良文始メ味方ノ士卒等シク其ノ不思議ノ出來事ニ驚嘆セリ、此ノ時敵兵死スルモ

ノ三百五十餘騎良文遂ニ大捷ヲ制セリ、而シテ良文其ノ夜夢ニ童子現ハレ爾ガ母我ヲ信シテ爾ヲ設ク懐胎三ヶ月ノ時胎中ノ子願クハ男子タラシメヨ而シテ男子タラバ天下無双ノ名將タラシメ給ヘ、然ラバ子孫永々氏神トシテ崇敬シ奉ルベシト祈ル、故ニ我レ爾ヲ助ケリト宣ヘリ。是ニ於テ翌日之ヲ附近ノ農夫ニ就テ質センガ上野國群馬郡花園村七星山息災寺ハ聖武天皇ノ勅願所ニシテ行基菩薩ノ開基ニ成リ中尊ハ北辰妙見尊ナリト聽キ良文等主從直チニ息災寺ニ詣テ粟飯原常時ヲ三年間此處ニ留メテ守護セシメ良文ハ其ノ後居城ノ地ニ尊體ヲ遷サントシ常時ヲシテ宜旨ヲ請ハシメタルニ堂ノ扉自然ニ開キタレバ常時畏ミ自ラ尊體ヲ背負ヒ息災寺ヲ出デ、晝夜兼行シテ千葉ニ之ヲ勤請ス、別當ハ北斗山金剛授寺ニテ後世人之ヲ妙見寺ト云ヘリ。是レ實ニ千葉ノ妙見尊王ノ由來ノ大要ナリ而シテ後一條天皇ハ勅シテ之ヲ勅願所ト定メサセラレ千葉家二十餘世ノ間其ノ氏神トシテ尊崇シ奉リ、徳川家康又深ク當寺ヲ崇敬シ永代二百石ヲ賜ハリ明治戊辰ノ歳王政復古トナリ神佛混淆ノ制ヲ改メラル、ニ當リ寺院ニテハ祭典ヲ行フ能ハザルヨリ妙見寺ノ寺號ヲ改メテ妙見社トシ天御中主命ヲ祭り相殿ニハ富津主命及ビ日本武尊ヲ祭り更ラニ千葉神社ト改メ明治七年一月十九日ヲ以テ社格ヲ縣社ニ列セラレタリ。社殿ハ古ハ壯麗ヲ極メタリシモ明治七年祝融ノ災ニ罹リ堂塔悉ク烏有ニ歸シ再建ノ後又明治三十七年一月二十日再ビ祝融ノ災ニ遭ヒ大正三年八月巍々タル再建ヲ成セリ。

◎千葉寺

千葉寺ニ在リ海上山ト號シ眞言宗ノ中本山ニシテ本尊ハ十一面觀音ナリ

人皇四十三代元明天皇ノ和銅二年巳酉(1.222年前)行基菩薩ノ開基ニ成ル、其ノ後人皇四十五代聖武天皇ヨリ長クモ三界六道ノ勅額ヲ賜リシガ永曆元年(1.115年前)雷火ノ爲メ堂宇什寶燒失シタリ、里人ノ傳フル所ニ依レバ其ノ時本尊觀世音ハ飛ビテ西方凡ソ八丁ヲ離レタル高臺ノ櫻樹ニ移リテ火難ヲ免レタリト。爾來其ノ櫻樹ヲ眞木ト稱シ里人ハ決シテ櫻ヲ薪ト爲サズト云フ。尙ホ不思議ナルハ本尊開扉ノ際ハ季節ニ拘ラズ櫻花咲キ出デツルヲ以テ里人之ヲ觀音ノ靈示ナリトシ再建ノ堂宇ヲ櫻樹ノ下ニ建立セルナリト傳ヘリ。即チ今ノ堂宇ノ在ル所是ナリ。

境内幽邃今尙ホ老櫻數樹堂宇ヲ圍ミ又銀杏樹アリ、枝幹奇古一見數百年前ノモノタルヲ知ルベシ。春陽櫻花ノ候ニ至レバ斯ル幽邃ノ仙境モ忽チ一般遊覽場ト化スルナリ。

◎猪ノ鼻城趾

市ノ東南方ニ當リテ斷岸空ニ峙タキ奇古千歳ノ翠松其ノ頂ヲ掩翳スルモノ猪ノ鼻臺ト爲ス。千葉氏累代ノ城趾ナリ。

史ニ傳フ。今ヨリ八百年前ノ昔大治元年千葉常重氏此ノ臺上ニ城ヲ築キ爾來累代其ノ居城ト爲セリト。今ハ猪ノ鼻公園タリ。頃者園内ニ殉難警察官記念碑ノ建立アリ以テ本縣警察官ノ職ニ殉セルモノヲ祀ル。山上ニ立テ一眸スレバ袖ケ浦ノ碧波ハ洋々トシテ脚下ニ走リ遠クハ富嶽水雲ノ際ニ聳ヘ武相ノ諸山雲烟渺茫ノ裡ニ斷續シ、近クハ安房上總ノ峰巒ヲ碧波洋々ノ間ニ望ムベシ。

◎羽衣松

縣廳ノ公園池畔ニ在ル老松ナリ。樹幹丈許蟠テ地ニ臥シ延テ四方ニ偃蹇

ス其ノ秀靈ノ氣、瀟洒ノ體畫モ亦及バズ傳ヘ云フ、往昔千葉氏ノ全盛時天女此地ニ降り舞フコト久ウシテ其ノ纏フトコロノ羽衣ヲ梢上ニ掲ケ忽然白雲ニ駕シテ去レリト、傳説固ヨリ捕捉スルニ由ナシト雖モ古來本市ノ一名木タリ。

◎御茶ノ水

千葉氏ノ城趾猪ノ鼻臺ニ登ル坂下ノ地點ニ一井水アリ。世俗之ヲ御茶水ト云フ。傳説ニヨレバ治承ノ昔(七百四十九年前)源ノ頼朝ガ猪ノ鼻城ニ千葉常胤ト會見セシトキ常胤此ノ水ヲ以テ茶ヲ煮シ頼朝ニ侑メタルニ頼朝之ヲ賞味セルヨリ爾來之ヲ御茶ノ水ト稱セシナリト云フ。

◎君待橋

寒川片町大橋附近ニ在リ。傳ヘ曰フ、治承年間(七百四十九年前)常胤ノ一族ガ源頼朝ヲ此ノ橋ニ迎ヘタリト云フ。今ハ縣道ヲ横斷スル最トモ小ヤカナル石橋ナレド往昔ハ川ノ流レ尚ホ廣ク滔々トシテ海ニ朝シ左右ハ蟹舎蟹村人煙稀ニシテ野草人ヲ沒スルホドナリシト傳ヘリ。橋ノ最ト小ニシテ其ノ名ノ斯クモ大ナルハ頗ル一奇トスベシ。

◎布施丹後ノ碑

布施丹後ハ千葉町寒川ノ人、其ノ先ハ千葉氏ノ家臣ナリシガ土着トナリ世々地方ノ名族タリ。丹後生レテ穎悟慈善ニ富ミ産業ヲ重ンジ公共事業ニ意ヲ用ユルコト厚ク、常ニ水田ノ旱セルヲ見テ大ニ之ヲ憂ヒ都川ノ水ヲ旱田ニ注ギ以テ灌溉ノ用ニ供セント力ヲ注グコト久シカリシガ都川ハ水源ヲ山武郡土氣ニ發シ其ノ間幾多ノ原野ノ細流ヲ合シ川戸、星久喜ヲ經テ矢作ニ至リ而シテ都川ニ落ルモノナルヨリ自ラ四郊ヲ搜索シテ終ニ

水路ヲ上回スルコトヲ發見シ茲ニ矢作ニ一ノ堰ヲ構ヘ溝渠ヲ開鑿シ之ヨリ水田ニ灌溉スルノ設計ヲ案シ慶長十八年正月十四日(三百十三年前)官許ヲ得テ之レガ工ヲ起シ自ラ私財ヲ擲チ其ノ子雅樂助ト力ヲ協セ苦心慘憺終ニ寛永二年十二月(三百一年前)竣工ヲ告グルニ至レリ。此間年ヲ經ルコト十三星霜ニシテ漸ク灌溉ノ効ヲ奏シテ除水トセリ。而シテ其ノ水力ハ實ニ千葉、矢作、寒川、千葉寺ニ及ビ又餘水ハ隣村今井ヲ潤スルニ至ル。其ノ効實ニ偉大ナリト云フベキナリ。

大正十五年五月二十七日印刷

大正十五年六月 一 日發行

發行所 千葉市役所

千葉市本町三丁目五四八番地

印刷者 岩倉順造

千葉市本町三丁目五四八番地

印刷所 千葉活版所

終